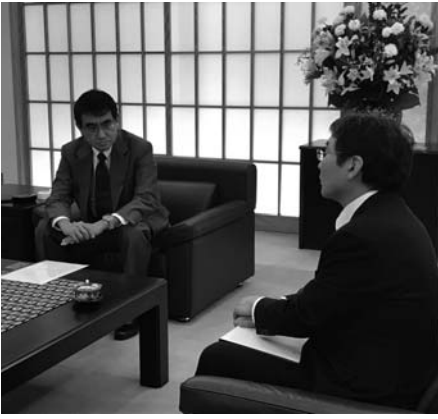


米海軍の空母艦載機 厚木基地で着陸訓練

9月1日に防衛省は、9月1日～6日(3日を除く)の日中、厚木基地において空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を実施すると急ぎよ発表しました。この発表の中で、今回の訓練は、台風の影響により洋上における訓練ができないことによるやむを得ないものであること、また緊急に行うことになったため直前の情報提供となったとの説明がありました。

厚木基地と外務省・防衛省に市長が要請

訓練当日の突然の発表を受け、大木大和市長は直ちに厚木基地および外務省、防衛省を訪れ、在日米海軍厚木航空施設司令官ロイド・マック大佐、河野太郎外務大臣らに面会し、



外務省で河野外務大臣に要請を行う大木市長



厚木基地で行われている着陸訓練の実施状況を視察する大木市長と黒岩県知事

着陸訓練が厚木基地で実施されれば市民生活へ計り知れない影響を及ぼすことから、決して厚木基地では実施せず、すべての訓練を硫黄島で実施するよう強く要請しました。

厚木基地で着陸訓練を強行

こうした要請にもかかわらず、着陸訓練は1日から開始されたことから、大木市長は黒岩神奈川県知事や厚木基地周辺市の市長などとともに、着陸訓練の実施状況を現場で視察し、その後、再度、厚木航空施設司令官に対し厚木基地で着陸訓練を実施しないよう求めました。

厚木基地での着陸訓練は、平成24年以来5年ぶりに実施されましたが、実施時間中は、空母艦載機が厚木基地周辺を周回しながら約2分～3分ごとに離着陸を繰り返し、市民に耐え難い騒音被害をもたらしました。



厚木基地で着陸訓練を繰り返すF/A-18E スーパーホーネット

着陸訓練は5日に終了しましたが、訓練が行われた4日間の厚木基地滑走路北約1.5地点における騒音測定では、地下鉄駅構内と同程度とされる1

00以上の騒音が123回測定され、市に寄せられた苦情などは181件にも及びました。このことから、着陸訓練終了後の7日にも、市は、神奈川県および基地周辺市とともに、外務省、防衛省に対し、二度と着陸訓練を厚木基地で実施しないよう改めて強く求めました。

その後、8日に空母ロナルド・レーガンが横須賀を出港しましたが、10日には午後10時を過ぎる空母艦載機の飛行があったことから、市では、厚木基地と防衛省に対し、休日や深夜の飛行は市民生活に多大な影響を及ぼすことから決して行わないよう要請しました。その後、9月中旬までに艦載機のほとんどは厚木基地を離陸しています。

この空母艦載機については、国から来年5月頃までに岩国基地へ段階的に移駐すると示されていますが、市では、移駐後も含め決して厚木基地で着陸訓練を実施しないよう、引き続き国や米側に強く求めていきます。

関市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260)5310 FAX(260)5316